

事前審査結果及び重点審査する施策

1. 審査結果

			事前審査結果
1	◎	取り組み内容の深化・発展	38
2	○	取組内容の継続	46
3	△	取組内容の見直し	17
4	×	取組の中止・終了	0
計			101

2. 重点審査する施策一覧

No.	基本目標	基本的施策名	資料2 ページ	通し番号	具体的な施策名	施策 担当課	総合評価 (案)
1	基本目標1	1-2-1 『道の駅のと千里浜』を核とした観光交流拠点施設の整備推進と地場産品市場の拡大	11	1	『道の駅のと千里浜』の整備・推進	商工観光課	◎
2	基本目標1	1-2-2 羽咋駅周辺整備による「まちなか」の賑わい創出	14	2	羽咋駅周辺の整備	都市づくり推進室	○
3	基本目標2	2-2-3 魅力あふれる観光情報の発信	47	3	観光資源の発掘、磨き上げの促進	商工観光課	◎
4	基本目標3	3-1-1 結婚を希望する若者への支援	51	4	出会いの場の創出支援	健康福祉課	△
5	基本目標3	3-2-3 子育てと仕事の両立支援、女性の活躍の場の創出	59	5	保育ニーズに対応した保育所運営	健康福祉課	◎
6	基本目標4	4-1-1 住環境の整備推進	73	6	若者の移住・定住の促進を図る宅地供給の推進	地域整備課	◎
7	基本目標4	4-7-1 近隣自治体、能登地域、広域地域等との連携・協力	97	7	千里浜なぎさドライブウェイ保全のための国県等との連携・協力、支援	地域整備課	○

基本目標1 羽咋における安定した雇用と魅力あるしごとを創出する

1	1-2-1 『道の駅のと千里浜』を核とした観光交流拠点施設の整備推進と地場産品市場の拡大	商工観光課
	① 『道の駅のと千里浜』の整備・推進	

総合評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

総合戦略効果検証シート

重要業績評価指標 (KPI)	当初目標値 2019年度	基準値 2014年度
道の駅での雇用者数	40人	0人(2017年度開業)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
目標値	0人	2人	14人	40人	40人
実績値	求人してないため未記入	2人	36人	35人	37人
事業費決算額	39,032千円	484,023千円	392,028千円	6,883千円	3,092千円
年度目標に対する達成率	-	100.0%	257.1%	87.5%	92.5%
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価		○	◎	◎	◎

①PLAN 取組内容	①交流人口の拡大、産業振興及び雇用創出の中核施設としての道の駅を創出する。 ②適材適所の人員確保
②DO 実績 (具体例、いつ、誰が、どこで、何を・・・)	①経営統括者(経営企画室長1名)の採用(H31.4～) ②経理事務職員1名の採用(R1.6～) ③ふるさと納税業務担当候補職員2名の確保と研修(R1.10～) ④1年単位の变形労働時間制(正社員) ⑤正社員数H31.3末9名→R2.3末11名
③CHECK 分析	①経営・経理部門の人員を確保することで、道の駅の運営方針の基礎となる経営数値を詳細に把握することができ、スタッフの働き方と人件費の調整に寄与した。 ②R2年度から市より委託されたふるさと納税業務について、実地研修の成果もありスムーズに業務が移行できた。 ③变形労働時間制を採用しているが、繁忙期の人員確保・閑散期の所得確保を勘案しつつ、部門間での人員融通なども踏まえ、多様な働き方の工夫が必要。
④ACTION 対応方向	①地域商社担当職員2名がR2年度より合流。さらに営業担当者を1名採用し外商を強化していく。 ②ふるさと納税担当職員2名を正式に配置。市から委託されたふるさと納税業務遂行に加え、ネット販売の拡充を図る。

有識者会議による検証評価

評価	総数	意見
◎	15	①『道の駅のと千里浜』は成功している事例と思われる。パンやジェラート、各種イベントは良い。今後さらに市民からの様々な要望をひろいあつめて発展させたいもの。そして第2、第3の羽咋版「道の駅」が市内にできるとよい。 ②観光客が喜ぶ工夫があるとよい。「砂像を増やす」等。 ③「外貨」獲得の重要手段。リピート客の心をつかみ続けるため、商品開発の継続が必要。 ④レストランのメニューを充実してほしい。せっかく自然栽培を推しているのに、サラダうどんのような野菜をたっぷり食べられるメニューが欲しい。 ⑤観光客の集客が必要なのはもちろんだが、市民との距離が遠い道の駅にはなっていないか。市内の情報ステーションとしての機能を持たせられないか。
○	3	①目標値に達しない理由は？適正雇用者数はどれだけなのか。
△	1	①経営について。経営の方針として、データだけをみていいのか？どうしても数字にとらわれすぎている気がする。商売なんて儲かる時ばかりではない。やはり現場に出てスタッフの声をきき、ともに汗を流すという姿勢が大事なのではないか？現場に出ていないと、お客様の声も聞こえない。現場に出ることによって、数字には出てこないお客様のニーズが分かる事が多い。数字ばかり追いかけて上から目線でスタッフにがんばれと言っても誰もついてこないと思う。今の道の駅はどんより空気が充満している。いきいきとしたムードが全くない。
×	1	①観光交流拠点施設として千里浜・羽咋駅・妙成寺・気多大社・神子原等の観光施設との連携をはかる。はくいし観光協会との連携をはかり宿泊・飲食等との更なる連携をとることにより点から面の観光に繋げる。

2	1-2-2 羽咋駅周辺整備による「まちなか」の賑わい創出	
	① 羽咋駅周辺の整備	地域整備課

総合評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

総合戦略効果検証シート

有識者会議による検証評価

重要業績評価指標 (KPI)	当初目標値 2019年度	基準値 2014年度			
羽咋駅乗降者数	49万人/年	47万人/年			
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
目標値	47.5万人/年	47.5万人/年	47.5万人/年	47.5万人/年	47.5万人/年
実績値	47.2万人/年	47.9万人/年	48.2万人/年	46.9万人/年	46.6万人/年
事業費決算額	36,816千円	49,685千円	80,810千円	15,642千円	22,425千円
年度目標に対する達成率	99.4%	100.8%	101.5%	98.7%	98.1%
基準値に対する増減率	0.4%	1.9%	2.6%	-0.2%	-0.9%
評価	○	○	○	○	○
①PLAN 取組内容	1 羽咋駅周辺整備のため、地形測量を実施する。 2 H30年度に策定した基本構想を基に、基本計画を策定する。 3 マルシェ解体設計及び既存家屋解体を実施する。				
②DO 実績 (具体例:いつ、誰が、どこで、何を...)	羽咋駅周辺整備 C=22,425千円 基本計画策定 C=8,199千円 地形測量委託費 C=2,754千円 駅周辺既存家屋解体費 C=7,358千円 旧マルシェ解体設計委託費 C=3,674千円 アスベスト調査費 C=440千円				
③CHECK 分析	基本計画策定にあたり、公募の市民を中心に、大学や国、県及び関係団体が参画した策定委員会を開催するとともに、プレサウンディングや第1回サウンディング型市場調査を実施し、金融や民間開発の事業者からも意見を募り、計画案を策定した。 また、策定した計画案をパブリックコメントやまちづくり懇談会で広く市民からの意見を募集し、とりまとめることで、より実現可能性の高い計画となった。				
④ACTION 対応方向	策定した基本計画を基に、旧マルシェの解体や(仮称)賑わい交流拠点施設の整備の事業手法の決定、都市計画道路川原町線の設計及び町会や地権者との協議、二級河川長者川の整備のため石川県との協議を行う。 また、基本計画に関連して、市道羽咋101号線の拡幅整備や財源確保のために都市再生整備計画(R3年～R7年の5ヶ年計画)を策定する。				

評価	総数	意見
◎	0	
○	18	①マルシェ跡地とその周辺を整備した後に、羽咋公民館や観光案内所等の核となる施設と駐車場(有事の時には防災拠点となる場所)が必要。 ②楽しみの拠点となれば人は集まる。魅力あるものを作れば良いのである。市民に一斉アンケートをとるなどして、今一番望まれていることを知ることが大切である。 ③トーカマート跡地を、市民が利用しやすい、利用したくなるように活用してほしい。 ④乗降者の分析をして、何が不足しているのか検討する。 ⑤羽咋の将来像を語る上で重要。 ⑥駅前への人の流れが復活するよう策を練ってほしい。 ⑦コンパクトシティの実現。駅前、駅近に有料でも、コインパーキングなり多く駐車場はあってほしい。 ⑧2018、2019年とマイナス傾向が強くなっている。これから脱却するためには、駅を基点としての周遊観光コースの改定などが必要だと思う。
△	1	
×	1	①観光交流拠点施設として千里浜・羽咋駅・妙成寺・気多大社・神子原等の観光施設との連携をはかる。はくいし観光協会との連携をはかり宿泊・飲食等との更なる連携をとることにより点から面の観光に繋げる。

基本目標2 羽咋への新しいひとの流れをつくる

3	2-2-3 魅力あふれる観光情報の発信	
	① 観光資源の発掘、磨き上げの促進	商工観光課

総合評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

総合戦略効果検証シート

重要業績評価指標 (KPI)	当初目標値 2019年度	基準値 2014年度
日帰り観光施設利用者数	285万人	202万人

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
目標値	204万人	225万人	225万人	255万人	300万人
実績値	217万人	205万人	259万人	282万人	286万人
事業費決算額	300千円	3,400千円	3,400千円	3,400千円	4,400千円
年度目標に対する達成率	106.4%	91.1%	115.1%	110.6%	95.3%
基準値に対する増減率	7.4%	1.5%	28.2%	39.6%	41.6%
評価	◎	○	◎	◎	◎

①PLAN 取組内容	年2回行われる旅行会社向けのプロモーション会議や、金沢駅観光情報センターや観光列車「花嫁のれん」、首都圏等への出向宣伝を行い、観光誘客の促進を図っている。 また、県や近隣市町と連携しながら、旅行会社等のアドバイスも取り入れ、ルート等の作成を行っている。
②DO 実績 (具体例、いつ、誰が、どこで、何を・・・)	令和元年度日帰り観光施設利用者数:286万人 日帰り観光客のうち、全国的に知名度の高い千里浜なぎさドライブウェイや気多大社が大部分を占めている。また、平成29年7月に開業した道の駅のと千里浜への来客数も多く、利用者増となった。
③CHECK 分析	平成29年度に開業した「道の駅のと千里浜」が要因で、日帰り観光客は増加したが、他の主要観光施設の多くは前年と横ばい傾向にある。
④ACTION 対応方向	新型コロナウイルス感染症への対応も考慮し、今後も継続して「道の駅のと千里浜」を観光拠点施設とし、機能を活用しながら、市内観光施設への周遊や、県や近隣市町と連携を図り、誘客の促進を図る。

有識者会議による検証評価

評価	総数	意見
◎	14	①千里浜や気多大社だけでなく、ほかにもさまざまな宝があることを、駅やネットでPRすべき。「道の駅のと千里浜」で動画やポスターで知らせていくのも一つの方法である。 ②自分は桜・藤・アジサイ・花しょうぶ・ひまわり等が咲いている写真を新聞で見ると見に行きたくなるので、花がきれいな寺・神社等をインターネットにのせて、観光客をよびよせるのもよいと思う。 ③実績の分析を行い、内容の精査を。 ④PRに尽きる。この項目も審議するまでもない。 ⑤何が魅力的に見えるかの分析と、魅力的に見せる策の検討を。 ⑥資源の発掘の段階は過ぎていると考える。例えば、UFOを活用すべし。未確認ゆえ、経費がかからない、話題になる。夜間滞在型UFO観察会など、経費をかけずに収益となる取組み。課内に「UFO目撃係」を設け、職務は情報収集。広報すれば期待できる。
○	5	①道の駅から他の市内観光施設に誘導する仕掛けづくりを。
△	0	
×	1	①観光交流拠点施設として千里浜・羽咋駅・妙成寺・気多大社・神子原等の観光施設との連携をはかる。はくいし観光協会との連携をはかり宿泊・飲食等との更なる連携をとることにより点から面の観光に繋げる。千里浜と羽咋駅を1本の道路で繋げる。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

4	3-1-1 結婚を希望する若者への支援	
	① 出会いの場の創出支援	健康福祉課

総合評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

総合戦略効果検証シート

重要業績評価指標 (KPI)	当初目標値 2019年度	基準値 2014年度
出会いの場からのカップル成立件数	10件	2件

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
目標値	3件	10件	10件	10件	10件
実績値	17件	10件	17件	13件	3件
事業費決算額	2,998千円	2,017千円	2,264千円	10,160千円	3,338千円
年度目標に対する達成率	566.7%	100.0%	170.0%	130.0%	30.0%
基準値に対する増減率	750.0%	400.0%	750.0%	550.0%	50.0%
評価	◎	◎	◎	◎	△

①PLAN 取組内容	①結婚相談員の育成・活動支援 ②婚活イベントの開催 ③市内団体のイベント補助金制度
②DO 実績 (具体例:いつ、誰が、どこで、何を...)	①結婚相談員の育成・活動支援 結婚相談員の増員(8名→12名) 活動費の増額(マッチング報酬1件1,000円→3,000円) ②婚活イベントの開催(民間委託) 恋する羽咋 1月26日 男性14人 女性14人 カップル3組 赤ちゃん婚活 2月23日 事業中止(新型コロナウイルス) ※新型コロナウイルスの影響により、イベントが開催できなかったため、カップル成立件数が減少した 婚活セミナー 1月18日 2月16日 男性26人 女性15人 ③市内団体のイベント補助金制度 3件(1件事業中止)
③CHECK 分析	婚活イベントやセミナーに、相談員が参加したことで、イベント終了後も参加者に個別支援ができる。
④ACTION 対応方向	今後もイベントやセミナーに相談員も参加し、参加者のフォローにつなげていけるよう対応する。 イベントの開催時期・方法について検討を行う。

有識者会議による検証評価

評価	総数	意見
◎	2	①出会いがなく結婚できない人が多いので、ぜひ出会いの場を設けて、市内の住民を維持・増加させたい。期待します。趣味(まんが等)が同じ人が集まるのもよいと思います。 ②地味だけど重要な取り組み。高額な民間事業に委ねていては、若者の成婚が成り立たなく恐れもあると思う。
○	7	①コロナの影響なのか成立件数は減ったが、是非継続した取組みをお願いいたします。 ②あきらめずに取り組みたいものです。市内に若者はいるんですよ。でも結婚していないのです。社会全体の啓蒙活動が必要かな？今の価値観のままではお先真っ暗ですね。不思議な自由意識の中で皆さまよっているような。ある程度の社会的慣習も必要です。 ③婚活事業に意義があることには変わらない。どうすれば成婚率が高まるか工夫すべきである。 ④私のような年代の親で、娘・息子の結婚に悩んでいる人が結構いる。親同士の交流があってもよいのではないかな？
△	11	①費用対効果を上げるには、羽咋市単独で行うだけでなく、郡市や広域事務局で対応する等、いろいろな団体と連携した取組を。 ②カップル数や成婚数でイベントを評価しようとすると、かえって良い結果に結びつかないのでは。婚活を前面に押し出しすぎない、求めすぎないで、自然に誘導する意識がイベント側にも行政にも必要。 ③参加者の資格は？
×	0	

5	3-2-3 子育てと仕事の両立支援、女性の活躍の場の創出	
	① 保育ニーズに対応した保育所運営	健康福祉課

総合評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

総合戦略効果検証シート

有識者会議による検証評価

重要業績評価指標 (KPI)	当初目標値 2019年度	基準値 2014年度			
延長保育実施施設数	8箇所	6箇所			
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
目標値	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所
実績値	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所
事業費決算額	5,029千円	6,552千円	6,041千円	4,170千円	4,743千円
年度目標に対する達成率	-	-	-	-	100.0%
基準値に対する増減率	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%
評価	◎	◎	◎	◎	◎
①PLAN 取組内容	<p>保護者の就労等で、保育標準時間を超えてしまう場合、時間を延長して子どもを預ける制度。 保育標準時間(11時間保育)については、18:00~19:00(利用料300円)となっている。 保育短時間(8時間保育)については、7:00~8:00(利用料100円)、16:00~17:00(利用料100円)、17:00~18:00(利用料100円)、18:00~19:00(利用料300円)となっている。</p>				
②DO 実績 (具体例:いつ、誰が、どこで、何を...)	<p>年間266人が利用している。</p>				
③CHECK 分析	<p>保護者が、安心して仕事ができるよう標準保育時間以上預けられることが不可欠である。 また、このサービスに対応できる保育士の確保が必要である。</p>				
④ACTION 対応方向	<p>今後も継続</p>				

評価	総数	意見
◎	19	①人口を増やすのであれば働く女性が安心して預けられる24時間対応ぐらいの保育園が必要だと思うが、コロナ感染が広がった時の対応も視野にいれていくべき。 ②退職した保育士に積極的に協力要請をすればどうか。 ③保護者が安心して働けるように、延長保育受け入れ体制を整えてもらいたい。 ④保育士の待遇向上が必要。 ⑤最も効果的な子育て支援だと思うので、充実を。 ⑥今後も必要な施策である。
○	1	
△	0	
×	0	

基本目標4 時代に合った持続可能な地域をつくり、地域と地域が連携する

6	4-1-1	住環境の整備推進	
	③	若者の移住・定住の促進を図る宅地供給の推進	地域整備課

総合評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

総合戦略効果検証シート

重要業績評価指標 (KPI)	当初目標値 2019年度	基準値 2014年度			
定住促進分譲地等による定住者数	50人(累計)	14人(累計)			
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
目標値	20人	3人(累計15人)	新整備調査・計画	3人(累計34人)	15人(累計57人)
実績値	12人	15人(累計27人)	4人(累計31人)	11人(累計42人)	26人(累計68人)
事業費決算額	-	2,500千円	36,131千円	102,220千円	3,672千円
年度目標に対する達成率	60.0%	180.0%	-	105.9%	119.3%
基準値に対する増減率	-14.3%	92.9%	121.4%	157.1%	385.7%
評価	◎	△	○	○	◎
①PLAN 取組内容	若者や子育て世代等の移住・定住促進及び活気ある地域づくりを推進することを目的として分譲地の整備及び販売を行う。				
②DO 実績 (具体例、いつ、誰が、どこで、何を...)	①島出町地内に整備した夕日ヶ丘分譲地を令和元年度に10区画を販売した。(平成30年度は6区画販売。残り8区画) ②新聞広告、雑誌広告、ポスター作成及び市内3カ所に案内看板を設置を行い、周知を行った。 ③令和元年7月に、住宅建設関連業者等に対し、夕日ヶ丘分譲地販売促進報奨金制度及びモデルハウス助成金制度を制定し、販売促進を図った。(販売促進報奨金:6件、モデルハウス助成金:2件)				
③CHECK 分析	住宅建設関連業者等向け助成制度を開始したことにより、販売促進につながった。				
④ACTION 対応方向	引き続き、購入者向け助成制度(まちづくり協定・住まいづくり奨励金)及び住宅建設関連業者等向け助成制度(販売促進奨励金・モデルハウス助成金)等の周知及び羽咋市の魅力(結婚・出産・子育て・教育等)の発信を行い、若者や子育て世代等の移住・定住を推進していく。				

有識者会議による検証評価

評価	総数	意見
◎	15	①空き家化したものや、一人暮らしの大きな家等々、少しのリフォームで十分住宅化できるものを開発したいものである。 ②もっとPRが必要だと思う。 ③2018年度より倍増している要因は？ ④一戸建てにこだわらず、アパートマンションの活用を。 ⑤近隣市町(七尾市、中能登町、志賀町、宝達志水町、かほく市)と比較して造成した区画の数は？特に中能登町や志賀町は宅地分譲に力を入れて、販売も順調のように感じる。羽咋市も積極的に推進することを望む。
○	5	①かほく市より利点を上げる。
△	0	
×	0	

7	4-7-1	近隣自治体、能登地域、広域地域等との連携・協力	
	①	千里浜なぎさドライブウェイ保全のための国県等との連携・協力、支援	地域整備課

総合評価項目
◎ 取組内容の深化・発展
○ 取組内容の継続
△ 取組内容の見直し
× 取組の中止・終了

総合戦略効果検証シート

重要業績評価指標 (KPI)	当初目標値 2019年度	基準値 2014年度				
国県等と連携した保全・継承事業数	1事業	1事業				
2事業						
1事業						
0事業						
2015年度			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
目標値			1事業	1事業	1事業	1事業
実績値	1事業	1事業	1事業	1事業	1事業	
事業費決算額	331千円	1,748千円	3,945千円	2,347千円	2,849千円	
年度目標に対する達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
基準値に対する増減率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価	○	○	○	○	○	
①PLAN 取組内容	羽咋市と宝達志水町・石川県が協力し、千里浜再生プロジェクトを実施し、千里浜海岸の現状やプロジェクトの取り組みを知っていただくため、各種イベントや情報発信を行う。					
②DO 実績 (具体例、いつ、誰が、どこで、何を...)	①4月及び7月に、海岸清掃(なぎさクリーン運動)を実施。 ②7月に体験型イベント(なぎさふれあい教室)を実施。 ③8月に一人一砂運動イベント(千の浜守人(ハーモニー))を実施。 ④9月にライトアップイベント(「千」の輝き)を実施。					
③CHECK 分析	昨年度は悪天候により、実施することができなかったイベントがあったが、今年度は予定していたイベントを実施することができた。					
④ACTION 対応方向	引き続き、千里浜海岸の保全意識の向上を図るため、各種イベントの開催等を通じて、砂浜の浸食の現状や、保全対策の必要性などの情報発信を行う。					

有識者会議による検証評価

評価	総数	意見
◎	5	①千里浜の保全活動は、羽咋市にとって一番の宝である事を認識すると同時に、国や県からも補助金をもらって砂浜の浸食に歯止めをかけてほしい。 ②市民の保全意識はまだ低い。市民を巻き込んだ保全活動はできないでしょうか？また県や国に働きかけは行われているのか？ ③大学でこの砂浜についての研究をするところを全国にオープンに公募し、研究機関か支所を設けてはどうだろうか。 ④羽咋の誘客での最大の武器と考える。イベントよりも、県の砂浜保全の拡充を求めてほしい。
○	15	①なんとかこれ以上千里浜の浸食が進まないように県と協力して、対策を講じてもらいたい。 ②国と直接連携した事業に。 ③「千里浜の保全意識向上」とは何を指すのか分からない。美化ならそう言うべき。養浜を指すのならば、どうしたら養浜につながるか、(研究費の寄付募集など)具体的な提示をした方がいいと思う。 ④良い取り組み。国・県を巻き込んで砂浜保全・養浜を進めてほしい。
△	0	
×	0	